

製品名: MEKK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85779**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200, IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 70 kDa; Observed MW: 70 kDa

抗原情報

遺伝子名	MEKK2
別名	MAP3K2; MAPKKK2; MEKK2; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 2; MAPK/ERK kinase kinase 2; MEK kinase 2; MEKK 2
遺伝子 ID	10746.0
SwissProt ID	Q9Y2U5
免疫原	ヒト MEKK2 の合成ペプチド

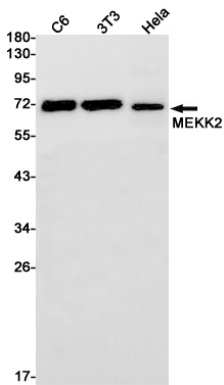
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン / スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーです。このキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路に関与するキナーゼ (MAPK7 および MAP2K4 を含む) を優先的に活性化します。このキナーゼは、I κ B キナーゼ (IKK) を直接リン酸化して活性化することが示されており、NF- κ B シグナル伝達経路において役割を果たしています。また、このキナーゼはプロテインキナーゼ C 関連キナーゼ 2 (PRKCL2/PRK2) に結合して活性化することも明らかになっており、PRKCL2 を介したシグナル伝達プロセスへの関与が示唆されています。

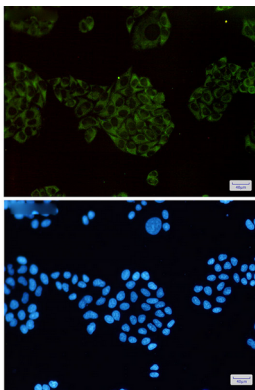
研究分野

MAPK シグナル伝達経路

画像データ



MEKK2 抗体を使用した C6、3T3、Hela 溶解物中の MEKK2 のウエスタン プロット分析



MEKK2 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の MEKK2 (緑) の免疫細胞化学分析